

職員による自己評価

A業務改善

- ・概ね対応できているとの評価。
- ・研修は内部研修の開催があるが、外部研修に参加が困難。

B適切な支援の提供

- ・個別支援計画に基づいて支援をしている。
- ・会議で支援内容を確認し、終了後振り返りを行っている。

C関係機関との連携

- ・必要時関係機関との連絡を取っている。
- ・併行通園先等との連携は保護者や SW を通して行うことが多い。必要時は直接電話で対応している。
- ・就学先等へ対面での申し送りをしている。

D保護者への説明責任等

- ・個別支援計画等で支援内容を保護者に説明し確認ができている。
- ・保護者同士の連携の支援は機会があるが感染症対応のため短時間にするときがある。通園頻度により開催の違いはある。

E非常時等対応

- ・緊急時対応は概ねできていると評価。
- ・緊急時対応を保護者へ説明の機会はあるが、周知は十分でない。
- ・虐待防止委員会が設置され、意識が高められている。

保護者による評価

A適切な支援の提供

- ・計画に沿った支援がなされている。
- ・家で取り組めないことを取り組んでいる。

B保護者への説明等

- ・子どもへの支援等について助言が受けられる。面談の回数増加等を希望する意見がある。
- ・保護者同士の連携については、コロナの影響で交流が少ないとの意見が多い。情報交換や悩みの共感の時間がほしいとの意見もある。

C非常時等対応

- ・概ね緊急時対応の説明は受けていると評価。
- ・訓練内容がわからないとの意見があった。

D満足度

- ・多くの方に満足いただいた。
- ・不満内容としては、通園課に入れない人へのフォローを望む意見や、利用時間が短いこと、通所日数のバリエーションが少ないこと、重複障害のある児への対応の改善を求める意見があった。

通園課内での分析

【共通点】

- ・子どもへの適切な支援の提供は実施されている。
- ・子どもへの支援内容が説明され、職員と保護者で確認ができている。
- ・緊急時の対応について保護者への周知が十分でない。

【相違点】

- ・保護者同士の連携について十分な支援ができているかどうか。
- ・職員から関係機関連携のあり方について検討が必要との意見が出ている。

分析・検討してみても…

通園課の強み

- ・個別支援計画を基に保護者にお子さんへの支援を丁寧に説明し、内容を確認している。
- ・お子さんへの支援内容は、個々に合わせた取り組みを行っている。
- ・クラスでの支援の取り組みだけでなく、家庭内での育児の相談等も行い家族支援を行っている。
- ・クラス会議で具体的支援を検討し、共通認識を持ち、利用者に支援している。

通園課の改善点

- 地域支援の一環として通園課で対応できるもの（勉強会等）に取り組む。
令和3年度は、個別支援級との情報交換会を再開。
令和4年度は、幼稚園や保育所との連携を再開。
- 非常災害の訓練の実施について、具体的な日程や内容を書面で伝える。保護者に理解していただけるよう、対応を検討する。

～自己評価を行っての通園課としての感想など～

今年度は、第三者評価でもアンケートにご協力いただきました。たくさんのお評価をいただいたこと、とても嬉しく思います。反面、厳しいご指摘もありました。いろいろなご意見を職員間で共有し、保護者の方やお子さんたちに満足いただけるような支援を考え、取り組んでいきたいと思っております。また、新型コロナウイルス対応で、たくさんのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。